

京都支部 だより

Shouaikai Kyoto-sibu



パナソニック松愛会
京 都 支 部
2012年10月
第 14 号
発行人 北村 八郎
TEL/FAX:075-314-2489

京都支部ホームページ <http://www.shoai.ne.jp/kyoto/>

堺市の隠れた魅力を再発見 社会見学会に63名が参加

今年の社会見学会は6月16日(土)に堺市内へ行きました。バス2台に63名の参加で堺市の隠れた魅力を再発見してきました。

京都から1時間余りの堺市役所に到着し、4名のボランティアアガイドさんに案内していただきました。市役所では、市内が一望できる地上80mの21階展望台で堺市内の名所について一とおりの説明を聞きました。見学後、バスの号車ごとに分かれて堺市内へ繰り出し、次のルートを回ってきました。

【自転車博物館サイクルセンター】堺は日本で最も自転車生産が盛んで、映画で自転車の歴史と変遷を勉強後、博物館の中を見ました。【大仙公園】自転車博物館そばの大仙公園では、仁徳天皇にまつわる歴史の話や聞き、昭和天皇が手植えされたクスノキなどもあり、市民の憩いの場です。

【仁徳天皇陵】大仙公園を抜けると広大な仁徳天皇陵があり、白石が敷き詰められて敬虔な雰囲気です。



仁徳天皇陵

【シティホテル・サンプラザ】昼食時に2台のバスが合流し、全員で食事を取りました。

【江久庵】昼食後にカステラを主体とした「江久庵」を訪れ、店内はあか抜けた喫茶店や茶室があります。また、隣接の反正天皇陵古墳が屋上から眺められました。店内では皆さんがカステラや和菓子など、多くのお土産を買っていました。

【南宗寺】徳川家ゆかりの

臨濟宗のお寺で、伝説の徳川家康の墓や千家一門の供養塔等を見学しました。また、松下幸之助創業者は水戸光圀の家老の子孫とかかわりがあったようで、銘板には創業者の名前も刻まれています。国の名勝枯山水の庭や八方睨みの龍も印象的です。

【榎並刃物製作所】堺名物の堺打ち刃物の製作現場で、若い職人さんが真っ赤に燃えた鋼をたたき上げて刃物をつくらせていきます。厳しい環境下、若い職人さんが伝統を引き継ぐ一所懸命な姿を間近に見て心強く感じました。

【堺伝統産業会館】ここでは堺出身の与謝野晶子の展示もあり、懐かしい調度品が展示されていました。

◆お知らせ
前号でお知らせの総会の帽子の忘れ物は心当たりの方から連絡はありません。



榎並刃物製作所

予定どおり6時過ぎに京都へ無事に着くことができました。

かつて織田信長は、京都と堺を制する者が日本を制すると豪語したそうです。このように古来より重要な堺について、きょうはごく一部の片鱗に触れただけでしたが、堺の魅力を十分に堪能できたと思います。

身近でありながら、あまり知らないことが多かった堺について見直された方も多いことでしょう。これを機会に堺と京都の歴史についてより一層理解が進めば幸いです。

勝手ながら近々処分させていただきますので、ご了承くださいませ。よろしくお願いたします。

「いつまでも親子を思う気持ちは変わらない」
皆さんは「娘捨山」のお話は聞かれたことがあると思いますが、長野県の伝説で知られています。

思いつくまに

「いつまでも親子を思う気持ちは変わらない」
皆さんは「娘捨山」のお話は聞かれたことがあると思いますが、長野県の伝説で知られています。

口減らしのために母親が60歳になると、息子が母親を背負って娘捨山へ娘を捨てに行くお話です。母親は山へ背負われていく途中に木の枝を折っては道端に挿し、また少し行つては木の枝を挿して道しるべを残しつつ山へと背負われていきました。

自分が置き去りにされたとき、家に戻るための道しるべではなく、息子が道に迷わず無事に家へたどり着けるように母親が息子のことを思つて挿していたのです。このように親はいつまでもたつても子供のことを思つているという温かいお話です。

老婆心(らうぼうしん)——
自分のことは一切考えに入らず、ただ相手を思いやる心の心温まるお話でした。
(今田さち子)